



月館学園の校舎（手前）と月館総合支所（奥）が渡り廊下でつながれた

特集

月館学園、開校

月館地域の3つの学校がひとつになり、いよいよ4月に開校を迎えます。時代の進化に合わせた教育と、昔から変わらないふるさとへの心を学べる場所として、新たな歴史を刻みます。

鍵は「つなぐ教育」

月館総合支所とつながる渡り廊下が象徴的な月館学園。あらゆるつながりが独自の教育を形づくります。

例えば小中学校のつながり。それぞれの教員が時に入れ替わって授業をすることで、9年間の学習に系統性や連続性が生まれます。さらにスクールコミュニティを校内に設置することで、地域の人との距離が近くなり、より多くの人と交流しながら学べる環境が整いました。地域の人の関わりが、子どもたちの未来へとつながります。

変化の激しい社会を生き抜く力が求められる現代の子どもたち。月館学園では特色ある3つの教育で変化に対応する力を養います。「英語教育」では本物の

英語に触れる機会を増やし、「ICT（情報通信技術）教育」ではデジタル機器で学習をサポートします。一方「ふるさと学習」では、地域の人との交流で、

多様な価値観と昔から変わらない人付き合いの大切さを学びます。地域を知ること、自分

を知ることを、将来を見据える大切な時期に、確かな「生きる力」を身に付けます。

月舘学園の教育

令和2年度から、小学校で新学習指導要領に基づく教育がスタートします。プログラミング教育と小学3年生からの英語が必修になる中で、月舘学園が取り組む教育の特色を紹介します。

英語教育

ネイティブに触れる

月舘学園ではALT（外国語指導助手）が常駐し、全学年の英語の授業をサポート。給食を一緒に食べたり、校内放送を日本語と英語で行ったりと、授業以外でも生の英語に触れる機会を増やします。



さらに5、6年生の英語の授業に中学校の教員が加わるなど、9年間を見通した教育課程を編成しました。

低学年から英語に触れる

小学校低学年に英語の授業はありませんが、生活科などの授業に、市の国際交流員が加わり、児童と触れ合う機会を設けます。身近な外国人との関わりの中で自然に英語に慣れる環境をつくります。

国際交流員の英会話教室も

市の国際交流員が、放課後に英会話教室を実施します。英語のアニメを題材に、日常生活で英会話ができるように学習します。

ふるわり学習

鍵はスクールコミュニティ

保原小、梁川小に続きスクールコミュニティを設置します。コーディネーターが常駐し、教育活動を支援します。

例えば郷土史を調べる学習では、学校の先生よりも地元で長年住んでいる人のほうが知識が豊富な場合もあります。学校からの要望に応じて、あらゆる分野の「地域の先生」を紹介するなどの橋渡しをします。



地域の人もつながる

月舘学園では中学校の高度な学習も支援するため、より多くの地域の人の知恵が必要になります。「この分野ならあの人が詳しい」などと人脈をつないでいくことで、地域の人のつながりも深まります。

スクールコミュニティをきっかけに人が集まったり、もう一度勉強したいと思っていたことを学び直したりと、生涯学習の場になります。学校を起点に地域の活動が活発になることが期待されています。



子どもと学校と地域をつなぎます！



コーディネーター
鈴木史浩さん、佐藤仁子さん

昔は地域全体で子育てし、近所の人に学ぶことも多かったと思います。子どもたちの成長を地域で見守りたいです。

Let's speak English with us!!



伊達市国際交流員
シャノン、トニー

月舘地域以外からも通学可能！

月舘学園では、通学区域の特例制度を適用し、市内の他地域からの児童生徒の転入学を積極的に受け入れます。

学校により学習内容が大きく異なることがないように配慮されているので、途中での転入校でも困ることはありません。

*VOICE

9学年での学校行事が楽しみ

9学年が同じ校舎で毎日勉強することや、一緒に行う学校行事が楽しみです。月舘中学校では毎年全校ダンスを行っていました。学園になっても、全校みんなで楽しめることを学園祭で発表できたらいいなと思っています。



月舘中2年
太田 明良さん

学校紹介

月舘中学校の面影を残しつつ、9つの学年が集える広々とした開放的な校舎に生まれ変わりました。全校児童生徒150人ほどが新たな学び舎で多彩な夢を描きます。



1



2

1. 曲線を帯びた天井が開放的な小学1年生～3年生の教室 / 2. 校内の案内には英語が併記された / 3. 児童生徒を待つ学園の正面玄関 / 4. 学校と支所をつなぐ長い渡り廊下 / 5. 旧月舘町の議場を利用した音楽室



3



4



5

ICT教育

タブレット端末を1人1台

タブレット端末で画像や動画を見ることができ、授業の理解が進みます。また、英語検定の基礎対策ができるのも特長です。校内はもちろん、スクールバスの迎えを待つ場所でも校内のネットにつながるので、少しの空き時間に学習できます。ネット環境がなくても、eライブラリ（家庭学習支援サービス）で主要5教科のドリル学習ができるのも特色のひとつです。



ロボットを動かす！

プログラミング教育の目的は、コンピュータを使う技術を学ぶだけでなく、順序立てて物事を考える力を身に付けることです。

月舘学園ではプログラミング教育の一部にロボットを導入。コンピュータに打ち込んだ指示でロボットがお辞儀をしたりダンスをしたりします。実際に動くのを楽しみながら、論理的思考を養うことができます。



伊達市内の会社が製作！

*VOICE

ロボットが新しい技術への好奇心のきっかけになり、子どもたちの将来の夢の第一歩になったら嬉しいです。



(株)リビングロボット
代表取締役社長 川内 康裕さん